

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ハニーバジャー・ラディー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.530	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ハニーバジャー・ラディー

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番

比較対照ボール：ハニーバジャー・エクストリーム 2024

フレアーの幅 インチ

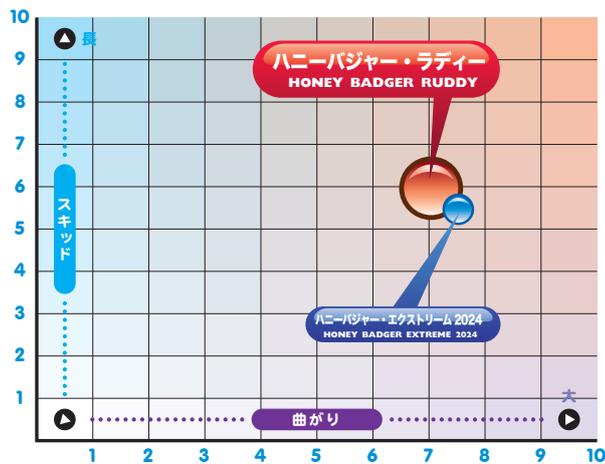
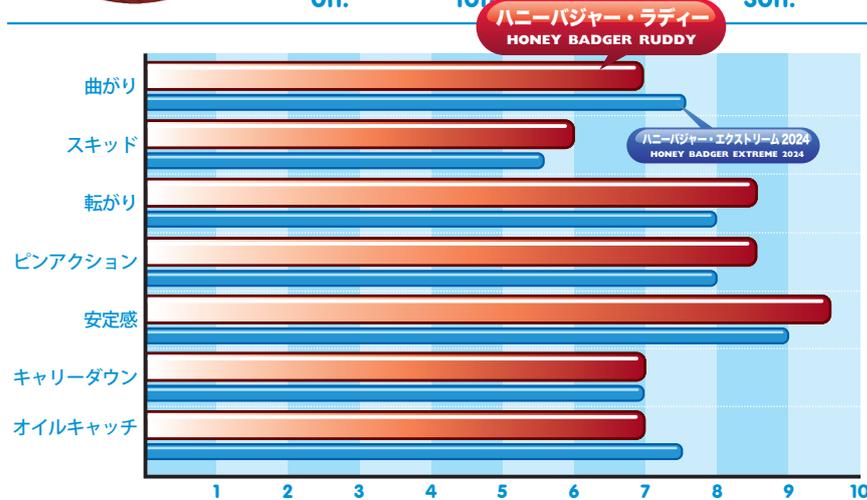
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

手前の軽い走りや、シャープさを感じさせる奥の動き。歴代のハニーバジャーはミディアムドライというコンディションに特化したスペックとして、今まで数多くリリースしてきました。

ハニーバジャーシリーズは「走り」と「キレ」という2大要素を兼ね備えたものが多く、ある意味その分野を賄うスペシャリストとして開発が進められてきたシリーズと言えるでしょう。

特に今回発売されるHONEY BADGER RUDDYは、ハニーバジャーシリーズでは欠かせないGrapnelコアを新たにA.I化して搭載しており、他のA.Iコアと同様にRGは下げられ、△RGは上げられています。これにより今までのコアの物理的ポテンシャルを越えて「より転がりやすく」「よりネジが大きく」変更されています。またこの改良により、ポケットをやや外れた際のヒッティングパワーが最大5%向上され、よりピンキャリアが期待できるところも朗報と言えるでしょう。

現行のカバーストック「S71」や「S74」ではなくReserve Blendにする事で、スキッド力は上がり、手前の走りは強く感じるようになりましたが、ドライエリアの反応は強くなっています。より走りやキレを実感でき、メリハリの利いたハニーバジャーの性能を感じていただけるでしょう。現在主流のボールのほとんどがミディアムから上位のスペックであり、光沢があるボールでもオイルに強く、薄くなったフロントエリアで反応してしまうことが多くなりました。そういう時にReserve Blend 700シリーズのハニーバジャーシリーズを使用すると、まだまだスキッドを確保することができます。スピードの不足を感じている方からシニア層、スピードよりも回転数が勝るポウラーまで多くのニーズに応えられるボールと言えるでしょう。

特記事項

走りの中に扱い易さを組み込み、HONEY BADGER RENEWALとの差別化もしています。
幅広いタイプのポウラーに応用が可能なモデルで、走りや先の動きに期待したいスペックをお求めの方は見逃し厳禁です。